

製品名: CHRM2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM85970**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,FC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:100-1:500,ICC 1:25-1:50,FC 1:25-1:50
分子量	51.7kDa

抗原情報

遺伝子名	CHRM2
別名	Muscarinic acetylcholine receptor M2, CHRM2
遺伝子 ID	1129.0
SwissProt ID	P08172
免疫原	この抗体は、組み換えタンパク質で免疫化されたマウスから生成されます。

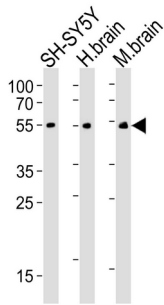
背景

ムスカリン性アセチルコリン受容体は、アデニル酸シクラーゼの阻害、ホスホイノシチドの分解、G タンパク質の作用を介したカリウムチャネルの調節など、様々な細胞応答を媒介します。主な伝達効果はアデニル酸シクラーゼ阻害です。

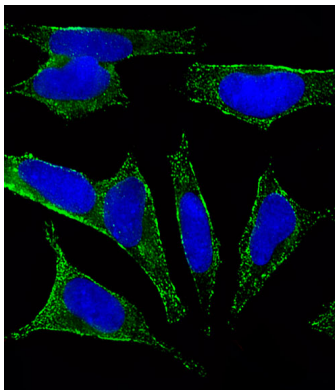
研究分野

PI3K-Akt シグナル伝達経路

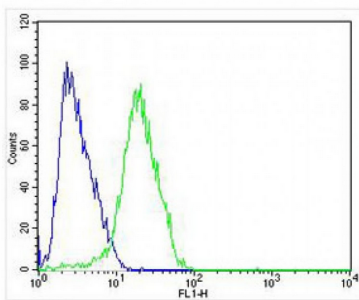
画像データ



SH-SY5Y 細胞株、ヒト脳、マウス脳組織（左から右へ）のライセートを CHRM2 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。CHRM2 マウスモノクローナル抗体は各レーンで 1:500 に希釈した。二次抗体として、ヤギ抗マウス IgG H&L (HRP) を 1:3000 に希釈したものを使用した。ライセートは 1 レーンあたり 20 μ g。



CHRM2 抗体（カタログ番号 AMM85970）で染色した SH-SY5Y 細胞の蛍光画像。AMM85970 は 1:25 に希釈した。二次抗体として Alexa Fluor® 488 標識ヤギ抗マウス IgG 抗体（1:400 希釈）を使用した（緑）。細胞核は DAPI で染色した（青）。



SH-SY5Y 細胞を（緑線）で染色した重ね合わせヒストグラム。細胞は 4%パラホルムアルデヒドで 10 分間固定し、その後 90%メタノールで 10 分間透過処理した。その後、非特異的なタンパク質間相互作用をブロックするために 2%ウシ血清アルブミン中で細胞をインキュベートし、続いて抗体（1:25 希釈）で 37°C、60 分間インキュベートした。二次抗体には、Alexa Fluor® 488 ヤギ抗マウス IgG (166821) を 1/200 希釈で 37°C、40 分間インキュベートした。アイソタイプコントロール抗体（青線）は、同条件下で使用したマウス IgG1（1 μ g/1x10⁶細胞）である。10,000 イベント以上を取得した。